

徳島大学大学院口腔科学教育部 口腔保健学専攻（修士課程） 学位論文審査基準

修士学位論文は、次に掲げる点を総合的に考慮し、かつ、審査対象が口腔保健学の分野において、意欲的に研究活動を行い、高度な知識、専門技能、強い責任感と指導力、国際性と問題解決能力を有すると認められる場合に合格とする。

① 研究テーマの妥当性

研究テーマに学術的及び社会的意義があると認められること。

② 研究方法の妥当性

研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定に対してふさわしい研究方法を実践していること。研究方法は、倫理的に配慮されていること。

③ 結論の妥当性

結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導出されていること。

④ 新規性

研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に新規性が認められること。

⑤ 社会又は学会等への貢献

社会への貢献が期待され、口腔保健学の発展に貢献する学術的価値が認められること。

⑥ 総合力

教育・研究者または高度専門職業人に必要な口腔保健学の高度な知識、専門技能、強い責任感と指導力、国際性と問題解決能力を有すると認められ、意欲的に研究活動を行うことができること。

徳島大学大学院口腔科学教育部口腔科学専攻（博士課程） 学位論文審査基準

博士學位論文は、次に掲げる点を総合的に考慮し、かつ、審査対象が口腔科学の分野において、研究者として自立して研究活動を行い、高度な知識、専門技能、強い責任感と指導力、国際性と問題解決能力を有すると認められる場合に合格とする。

① 研究テーマ・問題点設定の妥当性

研究テーマ及び問題設定に独創性や新規性があり、学術的及び社会的意義があると認められること。

② 研究方法の妥当性

研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定に対してふさわしい研究方法を実践していること。研究方法は、倫理的に配慮されていること。

③ 結論の妥当性

結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導出されていること。

④ 独創性（オリジナリティ）

研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に注目すべき独創性が認められること。

⑤ 社会又は学会等への貢献

社会への貢献が期待され、口腔科学の発展に貢献する学術的価値が認められること。

⑥ 総合力

教育・研究者または高度専門職業人に必要な口腔科学の高度な知識、専門技能、強い責任感と指導力、国際性と問題解決能力を有すると認められ、研究者として自立して研究活動を行うことができること。

徳島大学大学院口腔科学教育部口腔保健学専攻（修士課程）学位論文提出基準

課 程 修 士

修士論文は、次の(イ)又は(ロ)に該当する書類を教育部長に提出しなければならない。

- (イ) 学位申請論文。ただし、単著とする。
- (ロ) 国内外の査読制度のある学術専門誌の審査を経て公刊された、または公刊予定の単著論文、又は筆頭著者としての共著論文。ただし、共著論文の場合、共著者全員の承諾を得たものでなければならない。この場合において、当該論文が過去において修士もしくは博士論文として使用されていないものであり、将来においても修士もしくは博士論文として他に使用されないものでなければならない。

徳島大学大学院口腔科学教育部口腔科学専攻（博士課程）学位論文提出基準

課 程 博 士	論 文 博 士
<p>イ 学位申請される博士論文は、国内外の査読制度のある学術専門誌の審査を経て公刊された、または公刊予定の学術論文（総説、症例報告等は除く）であることが証明されたものでなければならない。</p> <p>□ 学位申請される博士論文が共著論文である場合は、提出者が筆頭著者（共筆頭著者を含まない）であり、かつ、共著者の承諾を得たものでなければならない。この場合において、当該論文が過去において博士論文として使用されていないものであり、将来においても博士論文として他に使用されないものでなければならない。</p>	<p>イ 学位申請論文は、主論文と副論文 2 編以上とし、次に掲げる要件を備えたものでなければならない。</p> <p>(イ) 主論文は筆頭著者の論文であること。</p> <p>(ロ) 主論文、副論文とも当該学位申請者の関連する専門分野の雑誌に掲載されていること。</p> <p>□ 提出される主論文は、論文投稿時に公表されている Impact Factor が 3.0 以上の論文とする。</p>